

特定非営利活動法人 日本免疫学会
平成 24 年度 **Tadamitsu Kishimoto International Travel Award**
研究発表報告書

申請者氏名	木下 允	会員番号	003-3249
申請者の 所属・職名	大阪大学大学院 医学系研究科 免疫制御学・助教		
出席会議名	Keystone Symposia (The gut microbiome: The effector/Regulatory Immune Network)		
発表論文 タイトル	Dietary Folic Acid Promotes Survival of Foxp3+ Regulatory T Cells in the Colon		

実施結果:

この度は、Tadamitsu Kishimoto International Travel Award を賜り、誠にありがとうございます。本学会は、2013 年 2 月 10 日から 15 日まで、アメリカ合衆国 New Mexico 州 Taos にて開催されました。私は、大阪大学医学系研究科、竹田潔教授の御指導のもとで進めていた食餌中葉酸の腸管炎症制御における役割についてポスター発表を行いました。発表では、関連分野の他の研究者の方々と活発な議論をさせて頂くことができ、また今後の研究指針について多くの御助言を頂くことができました。

本学会では、腸内細菌をキーワードに、様々な疾患モデルにおける腸内フローラの変化が報告されるとともに、逆にある種の腸内細菌がいかに宿主側の免疫動態を変化させるのか活発な議論がなされました。特に、リウマチや多発性硬化症などの自己免疫疾患についてはヒト疾患サンプルを解析した報告もなされ、今後マウスの基礎研究から translational research に向けた展開を予想させるものでした。また、腸内細菌によって誘導された腸管免疫細胞がいかにして他臓器の炎症発展・抑制に寄与するのか現在注目されていますが、in vivo imaging を使用することで、腸管炎症細胞の挙動を鮮明に画像化し解析しようとする試みも発表され、臓器間を自在に移動するという免疫細胞の捉え方、今まで当然としてとらえられてきた T 細胞抗原特異性の概念に対して新しいコンセプトが出てくる可能性を予感することができました。

今回の学会参加を通じて得られた経験を生かして、また今後更なる飛躍を目指して精進していきたいと考えています。